

外来魚駆除釣りボランティア

2018.5.26 @草津志那中湖岸緑地

2018年5月26日(土)、今年で9回目となる「外来魚駆除・釣りボランティア」を実施し、役職員とその家族計235名が参加しました。

滋賀県が行う「外来魚駆除協力事業」の「外来魚釣り上げ隊」の一員として、926匹(18.4kg)の外来魚を駆除し、琵琶湖の生態系保全について学びました。



ピワイチ行脚(今年で8周年!)中の野洲のおっさんも駆けつけてくれました!!



—「肥料」に生まれ変わる外来魚たち—
回収した外来魚は、福祉施設によって堆肥化され、自家農場で再利用されます

参加賞はフェアトレードのチョコレート

ボランティアに参加した一人ひとりに SDGs を通して世界の社会的課題を知っていただきたい思いで、フェアトレードのチョコレートを参加賞として配布しました。



フェアトレードってなあに？

フェアトレードとは直訳すると「公正な貿易」。つまり開発途上国の原料や製品を適正な価格で購入することにより、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみのこと。

フェアトレードの商品を選ぶことで、生産者が美味しく品質の良いものを作り続けていくために労働環境や生活水準が保証され、また自然環境にも優しい配慮がなされる持続可能なサイクルを応援できます。皆さんも、毎日の買い物の中で、その製品が作られた背景をを考えてみることから始めてみましょう!

